

～笑気吸入鎮静法～

30%程度の低濃度亜酸化窒素（笑気）と 70%程度の高濃度酸素の混合ガスを吸入することによって鎮静状態を得ようとする方法。

恐怖や不安を軽減する効果が高いため、鼻呼吸でガスを吸入することができれば歯科治療に不協力的な小児や発達障害のある人にも有用である。

利点	欠点
安全性が高い	装置・設備が必要
導入・覚醒が早い	鼻呼吸できないと効果が減る
濃度調節が容易	鼻マスクが治療の妨げになる
治療に対する不安や恐怖、緊張の軽減	
絶飲食が不要	笑気による環境汚染がある
呼吸、循環への影響が少ない	
軽度の健忘作用がある	

日本障害者歯科学会 2009. より一部改変

（適応症）

- ・ 歯科治療に恐怖や不安のある患者
- ・ 先天性心疾患や循環器疾患などの全身疾患を合併している患者
- ・ 嘔吐反射が強い患者
- ・ 神経質な患者

（禁忌症）

- ・ 気胸などの閉鎖腔のある患者
- ・ 中耳炎、鼓膜移植術後早期
- ・ 医療ガスを用いた眼科の手術を受けた既往のある患者
- ・ 妊娠3ヶ月以内の妊婦
- ・ 鼻閉塞などで鼻呼吸ができない患者

